

# 平成20年度 議会運営委員会行政視察報告書

平成20年10月31日

1. 日 程 平成20年8月27日（水）～29日（金）
2. 視 察 先 ☆福井県**小浜市**  
☆福井県**大野市**
3. 視 察 事 項 「議会運営全般について」
4. 視 察 者 一行8名
  - ・委員 樋口博務委員長 森山一理副委員長 広野豊作委員  
大関勝正委員 樋口浩二委員 関 龍雄委員
  - ・当局 小林多聞総務課参事
  - ・随員 石井信一議会事務局次長

## ■小浜市（福井県）

1. 市制施行 昭和26年3月30日
2. 人口 32,309人（世帯数11,768）平成20年4月1日現在
3. 面積 232,84km<sup>2</sup>

### 4. 都市の形態

福井県の南西部、若狭のほぼ中央に位置し、北は国定公園の指定を受けた若狭湾に面し、古代から日本海側屈指の要港として栄え、陸揚げされた大陸文化や各地の物産を、京都・奈良へ伝達していた。市内には、数多くの文化遺産が遺存する観光文化都市である。

また、このような歴史的背景と豊富な食材をもって、全国でも類を見ない「食」をキーワードに市民参加型のまちづくりを推進している。

### 5. 議会構成

- ①議員数 18名（法上限数26名・条例数18名）
- ②会派別構成 同志会10名・日本共産党1名・公明党1名・無所属6名
- ③常任委員会 ・企画総務委員会6名・まちづくり委員会6名・民政文教委員会6名
- ④議会運営委員会 7名
- ⑤特別委員会 つばき回廊問題対策委員会16名

#### 【議会運営】

##### （1）議案審査の具体的な方法

- ①条例 各所管の常任委員会へ付託、審査。通常1～2日程度の日数
- ②当初予算 各所管の常任委員会へ分割付託、審査。通常2日程度の日数
- ③補正予算 各所管の常任委員会へ分割付託、審査。通常1～2日程度の日数
- ④決算 決算認定議案の提出後、特別委員会を設置し、付託。次回定例会の開会までに、4日間程度の日程で審査。次回定例会冒頭において委員長報告を行い消滅。
- ⑤その他 条例に同じ

(2) 質疑について

- ①通告制の有無            あり
- ②質問回数                同一議題については3回まで

(3) 議会運営委員会について

①所管事項と具体的な審議内容

所管事項については、議会運営全般の事項を所管としている。

審議内容は、定例会会期の協議、上程議案の了承、議会人事の了承その他議会の運営にかかる事項

②委員会の開催時期

通常、定例会の概ね1月前及び告示日に開催。会期中は、必要に応じ随時開催。

③協議結果の周知方法

定例会の概ね1月前の議会運営委員会については、次回定例会の会期案を協議。了承後は事務局から、決定事項を文章及びメールで連絡。

告示日及び会期中に行われる議会運営委員会については、基本的に直後に開催される全員協議会で、委員長が決定事項の報告を行う。

(4) 常任委員会について

- ①委員会での質問回数制限の有無    なし
- ②閉会中の委員会活動の具体的な事例
- ③所管事務の各種団体（校長会など）との意見交換会、管内外視察研修、新規政策や事件等について理事者からの説明会等

(5) 議会報およびホームページについて

①議会報及びホームページ関係予算

議会報・・・約550千円

ホームページ・・・予算化せず（事務局職員で作成、更新）

②議会報発行及びホームページ作成の具体的な流れ

議会報①定例会終了後、その月末までに一般質問原稿を発言議員に依頼

②事務局でレイアウト案を作成し、第1回の編集委員会へ

③編集委員会の意見をもとに再編集し、第2回の編集委員会へ

④データを印刷業者へ送付

⑤印刷業者作成の原稿を校正し、印刷へ

ホームページ

事務局にて構成、編集

【特色のある議会運営】

平成9年にケーブルテレビが全域で開局。平成10年12月全ての本会議中継が実現。普及率は80～90%

議会中継を市民が関心をもって視聴しているので、質問する議員は一所懸命に勉強するので、レベル向上に役立っている。

## ■大野市（福井県）

1. 市制施行 昭和29年7月1日
2. 人口 38,535人
3. 面積 872,30km<sup>2</sup>

### 4. 都市の形態

福井県の東側に位置し、豊富な緑と清らかな地下水に恵まれた「奥越の小京都」と呼ばれる美しいまちとして知られている。盆地の四囲は霊峰白山の支脈に囲まれ、岐阜県境に源を発する九頭竜川は、九頭竜ダムをはじめとする多数の多目的ダムを擁し、約4,000haの沃野を潤している。

大野の歴史は古く縄文中期までさかのぼり、いろいろの変遷を経て、織田の武将金森長近公が亀山に越前大野城を構築し京都に模して短冊状の城下町を建設したことに起因しており、以後400余年間奥越の中心地として栄えてきた。

昭和29年7月1日に2町6ヶ村が合併して、大野市が誕生した。また昭和45年7月1日には西谷村、平成17年11月7日には和泉村をそれぞれ編入合併して、全国有数の広い面積を有する市となった。

### 5. 議会構成

- |       |                              |    |  |
|-------|------------------------------|----|--|
| ①議員数  | 19名（法上限数26人・次の一般選挙からは18人となる） |    |  |
| ②委員構成 | 総務文教常任委員会                    | 7人 |  |
|       | 民生環境常任委員会                    | 6人 |  |
|       | 産経建設常任委員会                    | 6人 |  |
|       | 議会運営委員会                      | 6人 |  |
|       | 中部縦貫自動車道・国道158号線整備促進特別委員会    | 6人 |  |
|       | 議会等改革特別委員会                   | 8人 |  |

### 6. 議会運営委員会委員の選出方法

各交渉団体の所属議員3人毎に1人とし、端数が2人あるときはさらに1人増やすことができる。正副議長は、議会運営委員会に出席する。ただし、議決に加わることはできない。

### 7. 議会運営に関する主な事項

- |          |                    |   |  |
|----------|--------------------|---|--|
| ①議会運営委員会 | 定例会1ヶ月前に議会運営委員会を開く |   |  |
| ②一般質問    | ・会派代表制             | 有（3人以上の会派）  |  |
|          | ・通告の期限             | 一般質問・代表質問ともに提案理由説明日翌々日の午前10時                      |  |
|          | ・時間の制限             | 「一般質問」答弁含め60分以内、同一議題3回以内<br>「代表質問」時間制限なし、原則再質問しない |  |

- ・発言順序 一般質問・代表質問ともに大会派から小会派の順（役員優先、役員以外は議席番号の大きい順）
- ・19年度中一般質問者 37人

③決算の審議方法 9月定例会において設置される決算特別委員会に付託している。委員定数は10名以内とし、議長・監査委員を除く議員が年次により議席番号の偶数・奇数毎に選出される。

## 8. 報酬・給与

### ①議員報酬

区 分	議 長	副 議 長	議 員
報酬月額	448,000円	377,000円	357,000円

- ②行政視察旅費
  - ・常任委員会 60,000円
  - ・議会運営委員会 60,000円
  - ・特別委員会 60,000円
- ③政務調査費 月額 40,000円（個人毎）
- ④費用弁償 なし

### 【特色ある議会運営】

#### 〈議会等改革特別委員会の設置〉

平成20年3月定例会で設置。議会本来の機能・役割を発揮すること、市民の目線で効率的でより開かれた議会運営を実現することを目標として「議会運営全般」「議会報の充実」「監視チェック機能の強化」「議会情報の透明化」などについての課題を洗い出し、今後の方策を検討し、実際の議会運営に反映させるよう働きかける。